

進行案

<p>時間がもっと取れるなら、こんな方法もありますよ</p>		
<p>ワークショップ</p>	<p><ワーク2> 「それぞれいろいろな方向から考えて、対応の仕方を出してくださいました。この時期の子どもにはトラブルはつきものですね。」 「では、実際にみなさんのご家庭で起きたトラブルと、そのときの対応で、うまくいったことや失敗したこと、心がけていることなどを出していただきます。付箋を用意しましたので、1枚に1つずつ書き出してみてください。その際、うまくいったことはピンクに、失敗したことは青に、心がけていることは黄色に書いてください。今、思いついたものでかまいませんよ。」 「それでは、画用紙に色分けしながら貼ってみましょう。そして、お互いの実践を交流しましょう。」</p>	<p>◇PI0「6 取組を活発にする手法あれこれ」の「③ブレインストーミング」参照。 ◇3色の付箋、画用紙を準備する。 ・うまくいったこと…赤色 ・失敗したこと…青色 ・心がけていること…黄色 ◇「その方法いいですね。」「そんなやり方もあったのですね。」などとほめる声かけをしたり、「わかります」「そうですよね」などと、気持ちに寄り添う声かけをしたりするとよいですよ。</p>
<p>いくつかのグループがあれば、発表の時間を設けましょう</p>		
	<p>「さあ、それぞれのグループごとにどんな工夫や失敗が出されたか、発表してもらいましょう。」</p>	<p>◇付箋を貼った画用紙を示しながら説明してもらおうとよいでしょう。全員役割分担をして発表するというのも、グループの連帯感が強まります。</p>

